

平成24年度病虫害発生予察予報第1号(4月)

平成24年3月30日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
抑制・促成キュウリ	べと病 灰色かび病 うどんこ病 褐斑病 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	並 少 <u>やや多</u> <u>多</u> <u>多</u> <u>多</u> 並
促成ナス	灰色かび病 黒枯病 すすかび病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ ハモグリバエ類 ハダニ類	少 <u>多</u> <u>多</u> 少 <u>多</u> 少 並
促成ピーマン・シシトウ	斑点病 黒枯病 うどんこ病 ミナミキイロアザミウマ ヒラズハナアザミウマ タバココナジラミ	<u>やや多</u> <u>やや多</u> 並 並 並 並
促成トマト	灰色かび病 うどんこ病 葉かび病 すすかび病 黄化葉巻病(TYLCV) タバココナジラミ	<u>多</u> 少 少 <u>多</u> 少 少
水稲	苗立枯病 ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ イネミズゾウムシ	やや少 並 <u>やや多</u> 並

I 気象予報(高松地方気象台 平成24年3月24日発表)

＜予想される向こう1か月の天候＞ 3月24日から4月23日

天気は、数日の周期で変わりますが、平年と比べ晴れの日が多い見込みです。

向こう1ヶ月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40％です。日照時間は、多い確率が50％です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50％です。

＜確率＞

(単位:％)

期 間	要 素	予報対象地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多い)
1ヶ月	気 温	四国地方	30	40	30
	降 水 量		40	40	20
	日照時間		20	30	50
1週目	気 温	四国地方	30	50	20
2週目			30	40	30
3～4週目			30	40	30

＜予報の対象期間＞

1ヶ月 : 3月24日(土) ～ 4月23日(月)

1週目 : 3月24日(土) ～ 3月30日(金)

2週目 : 3月31日(土) ～ 4月6日(金)

3～4週目: 4月7日(土) ～ 4月20日(金)

II 病害虫発生予想

1. 抑制・促成キュウリの病害虫

1) 褐斑病

予 想 発生時期:並 / 発生量:多

根 拠

(1) 現在、県全域で平年に比べ多発生傾向である。

(2) 向こう1か月の気象予報では、気温は平年並で、晴れの日が多い見込みで、日照時間は多いと予想され、発病を促進する条件は少ないが、現在の発生が多いことから、今後も多発生で推移すると思われる。

対 策

(1) 高温多湿が病勢を進展さすことから、換気を十分に行い、適正な温湿度管理に留意する。

(2) 蔓延すると被害が大きいかつ防除も困難となるので、予防及び初期防除に努める。

(3) 窒素過多や肥料切れが発病を助長するので、適正な肥培管理をおこない、草勢を維持する栽培管理に努める。

2) ミナミキイロアザミウマ・黄化えそ病

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 現在、ミナミキイロアザミウマは県中央部と中西部で発生面積が多く、寄生葉率も平年を大きく上回っている。また、黄化えそ病は県中央部で発生面積が多く、寄生株率は県全域で高くなっている。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、ハウス内外で気温の上昇が考えられことから、ミナミキイロアザミウマは野外からの飛び込みやハウス内での急激な増殖が考えられる。また、薬剤感受性の低下が懸念されていることから、今後も多発生で推移すると考えられ、黄化えそ病も増加すると予想される。

対 策

- (1) ミナミキイロアザミウマは生長点部を好んで寄生するため見つけにくく、また、薬剤もかかりにくいことから、丁寧な散布を心がける。また、感受性低下を避けるため、同一薬剤や系統が同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 青色粘着資材等の物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。
- (3) 本虫は黄化えそ病のウイルスを媒介する。発病株は次への発病の感染源となることから、見つけ次第早めに除去する。

2. 促成ナスの病害虫

1) 黒枯病・すすかび病

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 現在、県東部で黒枯病が多発生、すすかび病は平年並の発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では病勢を助長する要素は少ないが、両病害とも現状の発生が多いことと今後ハウス内は両病害の発病好適条件である高温多湿になることが多くなることから、今後も多発生が予想される。

対 策

- (1) 25℃内外の温度と多湿条件が発病に適し、油断すると急激に蔓延するので、予防及び発生初期の薬剤散布を徹底する。ただし、同一薬剤や同じタイプの薬剤の連用は耐性菌発現の恐れがあるので、薬剤の選定には十分留意するとともに、できるだけ過湿状態にならないよう少量の薬液での散布を心がける。
- (2) 薬剤散布のみならず、曇雨天時の加温や送風等耕種的な対策も取り入れ、ハウス内湿度の低減に努める。

2) タバココナジラミ

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 現在、県東部から中央部で多発生で、西部での発生は少ない。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温は平年並で晴れの日が多いことが予想されており、発生を助長すると考えられることから、このまま多発生で推移と思われる。

対 策

- (1) 薬剤感受性低下回避のため系統が同じ薬剤の連用は避け、増加する前に防除を行う。

3. 促成ピーマン・シシトウの病害虫

1) 黒枯病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 現在、全般的に多発生で、増加傾向である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、発生を助長する要素は少ないが、天敵導入ハウスの増加で薬剤防除も十分でない状況もあり、現状の多発生で推移すると思われる。

対 策

- (1) 高温多湿が多発の大きな要因となることから、換気を十分に行い、適正な温湿度管理に留意する。
- (2) 蔓延すると防除が困難になるので、初期防除を徹底するとともに、感染源となる罹病部位はできるだけは場外へ出す。

4. 促成トマトの病害虫

1) 灰色かび病

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 現在、平年に比べ発生面積、発病果率とも高い水準にある。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、発病を助長する要素は少ないが、現在の発生状況から多発生で推移すると思われる。

対 策

- (1) 発病後では防除が困難であるので、予防を主体とし、発生を見たら早めに治療効果の高い薬剤で対応する。
- (2) 蒸し込みぎみの管理や過繁茂は本病を助長することから、温湿度管理や換気、肥培管理、摘葉等作業には十分留意し、適正な栽培管理に努める。

県民の皆様に提供する農作物の病害虫防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. 病害虫防除所ホームページ（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>
 - ①病害虫発生予察月報、病害虫発生予察予報
 - ②病害虫発生予察注意報、病害虫発生予察警報、病害虫発生予察特殊報
 - ③病害虫発生予察技術資料
 - ④新しく問題となっている病害虫 etc.
2. こうち農業ネットサービス※※当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。
 - ・携帯電話を使った病害虫関連情報（どなたでも利用可能です）
 - <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/>（Iモード）
 - トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ezweb）
 - 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ヤフー）
 - ①病害虫発生予察情報（概要）